



政府の新型コロナ禍での米価格暴落対策が皆無の中
自治体独自の稲作農家への直接支援策を求める意見書提出について

2021年 11月24日

高浜町議会議長

小幡 憲仁 殿

越前市宮谷町61-39

福井県農民連会長 玉村 正夫

紹介議員 渡辺 孝



【請願の趣旨】

コロナ禍によって外食を中心に米需要が大きく減少して過剰になり、生産者が受け取る米価は、昨年比で軒並み2割から3割も下がっています。福井県産のコシヒカリで10500円、前年比で2700円減少、ハナエチゼンで9000円、前年比3200円の減少となっています。

農水省の調査でも、生産コストをまかなうためには、1俵1万5000円は必要です。まして9000円台では、米作りは続けることはできません。多くの米農家が米づくりから撤退することにつながりかねません。

まさしく稲作崩壊の危機であり、おいしい国産米を食べ続けたいという国民全体にとっての大問題です。

私たちは、コロナ禍による需要減少分は、国が責任をもって「過剰在庫」分を市場隔離すべきであり、米価暴落の事態をさけるべきと要求していますが、岸田政権は聞く耳を持っていません。

このようななか、全国の自治体では農家への直接支援が始まっています。埼玉県では種苗代などの支援を予算化し、青森県や岡山県では1俵当たり1000円～3000円の直接支払いが決まっています。また、埼玉県加須市でも全農家に対し種苗費相当額を交付する支援策を市独自で打ち出しました。

コロナ禍という、かつて経験したことのない危機的事態のなかで、農業者の経営と地域経済を守るために、従来の政策的枠組みにとらわれない対策が求められています。

以上の趣旨から、下記事項について、高浜町当局に提出することを請願します。

【請願事項】

1. 高浜町当局においては、米価暴落から地域経済と稲作農家の経営を守る立場で、農家への直接支払い支援策を講ずること。

以上

高浜町当局に対する稲作農家への直接支援策を求める意見書（案）

コロナ禍によって外食を中心に米需要が大きく減少して過剰になり、生産者が受け取る米価は、昨年比で軒並み2割から3割も下がっています。福井県産のコシヒカリで10500円、前年比で2700円減少、ハナエチゼンで9000円、前年比3200円の減少となっています。

農水省の調査でも、生産コストをまかなうためには、1俵1万5000円は必要です。まして9000円台では、米作りは続けることはできません。多くの米農家が米づくりから撤退することにつながりかねません。

まさしく稲作崩壊の危機であり、おいしい国産米を食べ続けたいという国民全体にとっての大問題です。

私たちは、コロナ禍による需要減少分は、国が責任をもって「過剰在庫」分を市場隔離すべきであり、米価暴落の事態をさけるべきと要求していますが、岸田政権は聞く耳を持っていません。

このようななか、全国の自治体では直接支援が始まっています。埼玉県では種苗代などの支援を予算化し、青森県や岡山県では1俵当り1000円～3000円の直接支払いが決まっています。また、埼玉県加須市でも全農家に対し種苗費相当額を交付する支援策を市独自で打ち出しました。

コロナ禍という、かつて経験したことのない危機的事態のなかで、農業者の経営と地域経済を守るためには、従来の政策的枠組みにとらわれない対策が求められています。

そこで、高浜町当局においては、米価暴落から地域経済と稲作農家の経営を守る立場で、農家への直接支援策を講ずることを強く求めます。

2021年12月

議会議長